

よび図 4 にまとめた。HIV 感染妊娠数は 1997 年以降毎年 30 例以上が継続しており、総分娩数も 1996 年以降毎年 20 例以上が続いている。帝切分娩や中絶の比率に大きな変化はないが、経膈分娩は 2003 年の 6 例を除き 1997 年以降 5 例以下である。妊婦における HIV 抗体検査の普及と選択的帝王切開による分娩を中心とする HIV 母子感染予防対策が浸透しつつあると考えたい。

4. 経膈分娩の可能性に関する検討

今年度報告された 19 例の分娩例における抗ウイルス薬の投与状況では、治療を受けていない症例は全く無かった。しかし経膈分娩の 1 例は妊娠中に HIV 感染と診断されておらず、分娩直前に HIV 感染が判明し、分娩時に ZDV を点滴投与されたのみで、母子感染予防対策は不十分であったと考えられるが、母子感染は認められていない。19 例中 16 例 (84.2%) に対して 3 剤以上を用いる HAART 療法がおこなわれていた。経膈分娩をした 33 例のうち、妊娠中に HIV 感染が判明し、CD4 数やウイルス量が測定されていたものは 1996 年、1998 年、1999 年、2001 年および 2003 年に分娩した 5 例のみであった。このうち AZT を投与されていたのは 1 例、3 剤併用療法が 2 例であった。4 例では母子感染のなかったことが確認されているが、無治療の 1 例の母子感染は不明である。これら 5 例が経膈分娩に至った理由は不明である。経膈分娩で母子感染に至った 12 例では、HIV 感染の診断時期はすべて分娩後であった。以上より、妊娠中に抗ウイルス薬の投与が十分行われたうえで経膈分娩を選択したと思われる症例は、全 346 例のうち皆無であると考えられるため、経膈分娩による母子感染の安全性に関する検討は困難であろうと推測された。さらに詳細な再調査を試みる必要がある。

5. HIV 母子感染予防対策の再設定

①妊娠早期の HIV 抗体検査による感染の診断、②HAART による抗ウイルス療法、③陣痛発来前の選択的帝王切開による分娩、④帝切時の ZDV 点滴投与、⑤出生児への ZDV シロップの予防投与および⑥児への人工栄養は、本研究班による本邦におけるレトロスペクティブな検討からは、ほぼ完全な HIV 母子感染予防対策と考えられる。しかし上記①②および③については HIV 感染妊婦症例の臨床的情報から検証されたと考えられるが、④⑤および⑥の効果についてのエビデンスは今回の検討からは得られておらず、今後産科小児科統合ファイルを用いて詳細に検討する必要がある。

D. 考察

産婦人科 1 次調査において平成 15 年 (2003 年) 10 月以降に診療された HIV 感染妊婦の新規症例が 40 例も報告されたことから、今後国内における HIV 感染妊婦の急増が危惧される。HIV 抗体検査の中国・四国ブロックおよび九州ブロックを中心とする全国的普及に伴う HIV 感染妊婦発生の全国的拡大は幸い認められないが、依然続く関東・甲信越ブロックへの集中が、全国的拡大と歯止めになるとは考えにくい。HIV 感染者数と HIV 感染妊婦数との相関が従来から認められていることから、今後若年者を中心とする HIV 感染者の全国的波及に伴い、HIV 感染妊婦も増加すると予測することは容易いと考えられる。HIV 抗体検査 10 万件あたりの HIV 感染妊婦数は、関東・甲信越ブロックのほとんどの都県で 10 以上と高いものの、人口の少ない他のブロックにおいては今後抗体検査率の上昇により 1 例でも HIV 感染妊婦が発見されれば、この値は急上昇する。従って現時点においては元来より抗体検査率が低く、人口の少ない関東・甲信越ブロック以外のブロックにおいてもこれまで HIV 感染妊婦が少なかったとは断言できない。

産婦人科 2 次調査の結果から 2004 年以降妊

妊娠転帰を迎える新規症例が 39 例も報告され、昨年度調査より 15 例も増加したことは、HIV 感染妊婦がいよいよ増加し始めたかの感がある。今年度新たに報告された HIV 感染妊婦数は 46 例で、本分担研究班が把握する HIV 感染妊娠の総数は 346 例となったが、この 46 例中 12 例の中絶・流産のうち 8 例は 25 歳以下の妊婦であり、例年になく若年者が多い。また例年の全国調査では次年度以降未報告症例が少なからず報告されることから、図 10 に示した 2004 年の症例数 28 は今後さらに増加する可能性が高い。さらに 2005 年に妊娠転帰を迎える妊婦が既に 11 例も報告されていることから、今後 HIV 感染妊婦が増加する可能性は非常に高い。このことは 1999 年以降持続する日本人感染妊婦の増加によっても裏づけされる。さらに本国での全土的な HIV 感染者の蔓延が報告されている中国人の HIV 感染妊婦の報告が 2000 年以降毎年続いていることも、対岸の火事として決して無視できない現実であろう。

帝王切開による母子感染率は 1.3%と毎年減少し、1997 年以降経膈分娩が毎年 5 例以下となったのは、本研究班の提唱する母子感染予防対策の普及が進んでいるものと自負するところである。しかし HIV 抗体検査未施行で経膈分娩により母子感染に至った児の数年後の発症から、母親の HIV 感染が判明した例が 12 例中 7 例と多いことから、産科側調査のみでは母子感染の減少を確信することは危険である。

HIV 感染妊婦に対する HAART 療法の安全性は確立されていないものの、その抗ウイルス作用の有効性は明らかである。実際の臨床でも HIV 感染妊婦に対して AZT 単剤での治療は行われなくなっており、HAART 療法は出生児の長期予後は今後の報告を待たねばならないが、現時点でも推奨できる母子感染予防法であると考えられる。ただ HIV 感染妊婦に対する抗ウイルス療法の開始時期や投与期間に関しては、今回の検討から後方視的には 20 週前後で

開始されていたとしかいえない。この時期の設定が適切であるのかどうかは今後の検討課題である。

今年度の研究において漸く産科小児科統合ファイルが完成した。これまで本邦において 423 例の HIV 感染妊娠が報告されていたことが明らかになり、1997 年以降毎年 30 数例の HIV 感染妊娠が発生していることがわかった。今後この統合ファイルをもとに産婦人科的解析のみでなく、小児科的解析も加え、本邦の HIV 母子感染に関する総合的検討が可能となり、より有効な HIV 母子感染予防対策の提唱が期待される。

E. 結論

1 次および 2 次の全国調査の症例報告数が例年と比較し増加し、さらに産科小児科統合ファイルを完成したことにより、わが国の HIV 感染妊婦の発生現状をより正確に把握できたと考えられる。これまで本研究班は本邦独自の HIV 母子感染対策を提唱し、平成 16 年に発行したマニュアル第 3 版においても解説し、さらに全国各地で研究成果発表会により HIV 母子感染に関する啓発活動を行ってきたが、新たな母子感染の報告が無かったことからこれらの活動の妥当性が確認された。しかし若年の HIV 感染者の増加が要因と思われる HIV 感染妊婦の増加を認めることから、今後は若年者への性教育を中心とする、国家的な HIV 感染予防対策の再構築が急務と考えられる。

先進国諸国の中で唯一、HIV 感染者数が増加しつつあるといわれているわが国においては、諸国の歴史と政策を含む HIV 予防対策を再度検証し、抜本的改善を講じる必要がある。

①妊娠早期の HIV 抗体検査による感染の診断、②HAART による抗ウイルス療法、③陣痛発来前の選択的帝王切開による分娩、④帝王切開時の ZDV 点滴投与、⑤出生児への ZDV シロップの予防投与および⑥児への人工栄養は本邦

における適切な HIV 母子感染予防対策であると考えられた。しかし HIV 感染妊娠の減少には寄与せず、性教育を含めた HIV 感染予防対策の抜本的改善の必要性が示唆された。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究業績

1. 論文発表

1. **Kita T**, Kikuchi Y, **Takano M**, Suzuki M, Oowada M, Konno R, Yamamoto K, Inoue H, Seto H, Yamamoto T, Shimizu K :

The effect of single weekly paclitaxel in heavily pretreated patients with recurrent or persistent advanced ovarian cancer.

Gynecol Oncol 92: 813-818, 2004.

2. **Kita T**, Goydos J, Reitman E, Ravatn R, Kikuchi Y, Chin KV :

Extracellular cAMP-dependents protein kinase (ECPKA) in melanoma.

Cancer Lett 208: 187-191, 2004.

3. Yamamoto K, Oogi S, Inoue H, **Kudoh K**, **Kita T**, Kikuchi Y :

Chronic administration of single weekly paclitaxel in heavily pretrated ovarian cancer patients.

Current Medicinal Chemistry 11: 425-428, 2004.

4. Selvanayagam ZE, Cheung TH, Wei N, Vittal R, Lo KWK, Yeo W, **Kita T**, Ravatn R, Chung TKH, Wong YF, Chin KV: :

Prediction of chemotherapeutic response in ovarian cancer by DNA microarray expression profiling.

Cancer Genet Cytogenet 154: 63-66, 2004.

5. Chin K-V, Selvanayagam ZE., Vitta R., Yang CS, **Kita T**, **Kudoh K**, Shih WC, Yong L, Wong, YF, Cheung, TH, Chung, TKH, Yap SF, Lin A. :

Application of Expression Genomics in Drug Development and Genomic Medicine.

Drug Dev. Res., 62: 124-133, 2004.

6. Hachisuga T, Saito T, Kigawa J, Ohwada M, Yamazawa K, Yasue A, Iwasaka T, Sugiyama T, **Kita T**, Nagai N :

Clinicopathologic study of 56 patients with endometrial cancer during or after adjuvant tamoxifen use for their breast cancers.

Gynecol Oncol, 95: 139-144, 2004.

7. **Takano M**, Fujii K, **Kita T**, Kikuchi Y, Uchida K: Amplicon profiling reveals cytoplasmic overexpression of MUC 1 protein as an indicator of resistance to platinum-based chemotherapy in patients with ovarian cancer.

Oncol Rep, 12: 1177-1182, 2004.

8. T. Gotoh, N. Hayashi, S. Takeda, S Itoyama, **M. Takano**, Y. Kikuchi :

Synchronous mucinous adenocarcinoma of the endometrium and mucinous cystadenoma of bilateral ovaries presenting during fertility therapy.

Int J Gynecol Cancer 14: 1-3, 2004

9. T. Gotoh, N. Hayashi, S. Takeda, S Itoyama, **M. Takano**, Y. Kikuchi :

Synchronous mucinous adenocarcinoma of the endometrium and mucinous cystadenoma of bilateral ovaries presenting during fertility therapy.

Int J Gynecol Cancer 14: 169-171, 2004

10. **Masashi Takano**, Yuri Hasegawa, **Hideo Matsuda**, and Yoshihiro Kikuchi :

Successful Management of Cervical Pregnancy by Selective Uterine Artery Embolization (A Case Report).

Journal of Reprod Med 49: 986-988, 2004

11. **Hideo Matsuda**, Yuichi Kawakami, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi :

Intrauterine therapy for a cytomegalovirus-infected symptomatic fetus.

BJOG: International Journal of Obstetrics and Gynaecology 111:756-757, 2004

12. Dohi T, Fujihashi K, Koga T, Etani Y, Yoshino N, Kawamura YI, McGhee JR :
CD4+CD45RBHi interleukin-4 defective T cells elicit antral gastritis and duodenitis.
Am J Pathol.;165(4):1257-1268. 2004 Oct
13. Yoshino N, Lu FXS, Fujihashi K, Hagiwara Y, Kataoka K, Lu D, Hirst L, Honda M, van Ginkel FW, Takeda Y, Miller CJ, Kiyono H, McGhee JR. :
A novel adjuvant for mucosal immunity to HIV-1 gp120 in non-human primates.
J Immunol. 173: 6850-6857, 2004
14. Someya K, Cecilia D, Ami Y, Nakasone T, Matsuo K, Burda S, Yamamoto H, Yoshino N, Kaizu M, Ando S, Okuda K, Zolla-Pazner S, Yamazaki S, Yamamoto N, Honda M. :
Vaccination of Rhesus Macaques with Recombinant Mycobacterium bovis Bacillus Calmette-Guerin Env V3 Elicits Neutralizing Antibody-Mediated Protection against Simian-Human Immunodeficiency Virus with a Homologous but Not a Heterologous V3 Motif.
J Virol. 79: 1452-1462, 2005
15. Kaoru Sakumoto, Yutaka Nagai, Morihiko Inamine and Koji Kanazawa:
Primary omental gestational choriocarcinoma ascertained by deoxyribonucleic acid polymorphism analysis.
Gynecologic Oncology, 2005, (in press)
16. Nakasone T, Hara T, Yoshino N, Honda M. :
Update on HIV/AIDS in Japan, 2003.
In AIDS in ASIA. Y. Lu and M. Essex ed. Kluwer Academic Publishers, London. pp73-81, 2004.
17. 塚原優己、和田裕一、吉野直人、喜多恒和、稲葉憲之、戸谷良造 :
わが国における妊婦 HIV 抗体検査の実施状況—依然続く地域較差—
産婦人科の実際 53 : 1521-1528、2004
18. 林公一、喜多恒和、和田裕一、谷口晴記、塚原優己、箕浦茂樹、佐久本薫、高野政志、蓮尾泰之、吉野直人、戸谷良造、稲葉憲之 :
4年間(1999-2002)における妊婦 HIV 抗体検査実施率の経時的変化とその地域差について。
第 21 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集、51 - 54、2004
19. 外川正生、井村総一、大場悟、葛西健郎、高山直秀、宮澤廣文、喜多恒和、和田裕一、塚原優己、北村勝彦、谷口晴記、林公一、箕浦茂樹、阿部史朗、佐久本薫、高野政志、蓮尾泰之、早川智、稲葉憲之、戸谷良造 : わが国における HIV 母子感染の実態—小児科領域の全国調査から—。第 21 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集、55 - 59、2004
20. 伊香加納子、笹秀典、長谷川ゆり、古谷健一、高野政志、喜多恒和、戸出健彦、菊池義公 :
子宮内膜症に合併した重症骨盤腹膜炎、卵管留膿腫の 1 例。第 21 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集、60 - 66、2004
21. 蓮尾泰之、和田祐一、林公一、稲葉淳一、明城光三、吉野直人、松田秀雄、谷口晴記、北村勝彦、外川正生、塚原優己、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之 :
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(1)妊婦 HIV スクリーニング検査の実施率。
第 22 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集 73-75、2005
22. 谷口晴記、外川正生、大場悟、葛西健郎、國方徹也、高山直秀、井村総一、吉野直人、松田秀雄、蓮尾泰之、北村勝彦、和田裕一、塚原優己、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之 :
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(4)母子感染例の感染経緯と予後
第 22 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集 84-87、2005
23. 稲葉憲之、塚原優己、谷口晴記、源河いくみ、服部里佳、大金美和、喜多恒和、和田裕一、外川正生、葛西健郎、大場悟、國方徹也、北村

- 勝彦、岩室紳也、井上富貴子、三島典子、楯朋子、矢永由里子、村中知恵、戸谷良造、宮澤豊：HIV 母子感染予防対策マニュアル第3版 平成15年度厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」（主任研究者 稲葉憲之）分担研究わが国独自の HIV 母子感染予防対策マニュアルの作成・改訂にかかわる検討班編、2004
24. 喜多恒和、阿部史朗、佐久本薫、高野政志、松田秀雄、箕浦茂樹、吉野直人、高橋尚子：HIV 感染妊婦の実態調査とその解析。平成15年度厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」平成15年度総括・分担研究報告書（主任研究者 稲葉憲之）：pp11 - 32、2004
25. 松田秀雄、川上裕一、古谷健一、菊池義公：サイトメガロウイルス(CMV)感染胎児に対する胎内治療と治療効果判定。産婦人科の実際 53：445-451、2004
26. 坂口健一郎、松田秀雄、芝崎智子、鈴木嘉穂、古谷健一、菊池義公：臍帯動脈に腫瘍塞栓をきたし救命し得なかった胎児白血病の一例。日本産婦人科・新生児血液学会誌 14：37-38、2004
27. 芝崎智子、松田秀雄、坂口健一郎、鈴木嘉穂、古谷健一、菊池義公：RhE 不適合胎児にγグロブリンを腹腔内投与した一例。日本産婦人科新生児血液学会誌 14：57-58、2004
28. 高橋宏典、水本賀文、工藤一弥、提坂敏昭：当院における妊婦の耐糖能スクリーニングと耐糖能異常妊婦の現状。日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 41：41 - 46、2004
29. 古谷健一、村上充剛、松田秀雄、牧村紀子、菊池義公：子宮内膜症における腹腔内免疫環境の変化と妊孕能に関する検討。エンドメトリオーグス研究会会誌 25：72 - 76、2004
30. 伊香加納子、古谷健一、長谷川ゆり、田中壮一郎、笹秀典、松田秀雄、菊池義公：片側腔留血腫を呈した重複子宮例の診断・治療。日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 41：365-371、2004
31. 服部里佳、箕浦茂樹：妊娠中のウイルス感染と分娩管理（CMV、麻疹、ヘルペス、HCV、HIV）はどうするか？周産期医学 34：329-332、2004
32. 箕浦茂樹、服部里佳、古澤祐紀、小早川あかり：アジア地域開発途上国における妊産婦健診体勢の比較検討。平成15年度厚生労働省国際医療協力研究委託費研究報告書、pp243 - 244、国立国際医療センター国際医療協力局、2004
33. 箕浦茂樹、福田友洋：胎児心拍数モニタリング（CTG、NST、CTG）。産科と婦人科 71：172 - 178、2004
34. 箕浦茂樹、服部里佳、福田友洋：羊水検査（染色体検査、胎児成熟度判定）。周産期医学 34：651-654、2004
35. 箕浦茂樹、伊藤めぐむ：周産期医療におけるカルテの記載 妊娠経過の書き方。周産期医学 34：983-986、2004
36. 堀川隆、箕浦茂樹：超音波像の読み方 婦人科—良性疾患。検査と技術 32：1476-1481、2004.
37. 古澤祐紀、服部里佳、五味淵秀人、山口俊也、福田友洋、伊藤めぐむ、堀川隆、小早川あかり、中村幸夫、箕浦茂樹：

- 肝細胞癌に対し生体肝移植後、挙児を得た1例。
日産婦東京地方部会誌 53 : 174-176、2004
38. 小早川あかり、箕浦茂樹：
卵巣嚢腫合併妊娠の分娩管理はどうするか？
周産期医学 34 : 326-328、2004
39. 箕浦茂樹：
産婦人科処置。
谷昌尚・寺島裕夫監修、処置・リハビリの完全解説。医学通信社、P51-56、2004
40. 箕浦茂樹：
女子性器。
谷昌尚、寺島裕夫監修、手術術式の完全解説(第4版)、医学通信社、p299-327、2004
41. 福田友洋、服部里佳、箕浦茂樹、山口俊也、古澤祐紀、伊藤めぐむ、堀川隆、小早川あかり、榊谷法生、五味淵秀人、中村幸夫：
妊娠中に巨大子宮筋腫を核出した2症例。
日産婦東京地方部会誌 392-395、2004
42. 箕浦茂樹：
妊娠初期のプライマリ 婦人科疾患合併妊娠(子宮筋腫、子宮頸癌、卵巣腫瘍)。
周産期医学 34 : 1677-1681、2004
43. 喜多恒和：
卵巣癌維持化学療法 weekly PAC 療法。
有吉寛監修、エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック、メディカルレビュー社、大阪、pp102-103、2004
44. 古谷健一、田中壮一郎、高野政志、川上裕一、斎藤恵子、伊香加納子、芝崎智子、藤井和之、笹秀典、松田秀雄、喜多恒和、戸出健彦、菊池義公：
子宮動脈塞栓術(UAE)。
日本産科婦人科学会関東連合地方部会報 41 : 51 - 57、2004
45. 喜多恒和、高野政志、工藤一弥、菊池義公：
卵巣癌の組織型と化学療法。
産婦の実際 53 : 41-46、2004
46. 岡本三四郎、芝崎智子、高野政志、藤井和之、笹秀典、喜多恒和、古谷健一、戸出健彦、相田真介、菊池義公：
当院で経験した原発性卵管癌 6 症例の臨床検討。
47. 喜多恒和：
卵巣がん治療の CONTROVERSY—遠隔転移の取り扱い。
産科と婦人科 71 : 1189-1193、2004
48. 菊池義公、工藤一弥、藤井和之、佐々木直樹：
厚生科学研究費補助金(がん予防等健康科学総合研究事業)分担研究報告書 卵巣がんにおける抗癌剤耐性機序の解明と反応性の予測
厚生科学研究費補助金がん予防等健康科学総合研究事業 婦人科がんの発生・進展の分子機構解析に基づいた新しい分子診断・治療法の開発(H15-がん予防-012) 平成 15 年度「総括・分担研究報告書」：pp44-46、2004
49. 高橋宏典、工藤一弥、吉田昌史、酒井優、水本賀文：
茎捻転による急性腹症で発見された腹膜線維性中皮腫の1症例
日本産科婦人科学会関東連合地方部会報 41 : 315-319、2004
50. 工藤一弥、菊池義公：
特集 ゲノム情報とがん薬物療法 ゲノム情報と薬剤感受性 4)婦人科腫瘍
血液・腫瘍科 49 : 584-590、2004
51. 岡本三四郎、藤井和之、高野政志、笹秀典、喜多恒和、戸出健彦、菊池義公、安斎幹雄、相田真介：
細胞診にて内膜癌以外の病変を疑った原発性卵管癌の2例。
埼玉県医学会雑誌 38 : 508-514、2004
52. 岡本三四郎、芝崎智子、高野政志、藤井和之、笹秀典、喜多恒和、古谷健一、戸出健彦、相田真介、菊池義公：
当院で経験した原発性卵管癌 6 症例の臨床検

- 討.
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報
41:15-20、2004
53. 高野政志：
若年女性の悪性腫瘍における癌遺伝子。
川野小児医学奨学財団研究業績集 1998 - 2001
(第三集) pp29 - 33、2004
54. 高野政志：
癌抑制遺伝子の分離同定
川野小児医学奨学財団研究業績集 1998 - 2001
(第三集) pp42 - 43、2004
55. 岡本三四郎、藤井和之、斎藤恵子、川上裕一、高野政志、笹秀典、喜多恒和、安斎幹雄、相田真介、菊池義公：
子宮頸部悪性腺腫の2例。
日本臨床細胞学会埼玉支部会誌 22:24-29、2004
56. 佐々木直樹、高野政志、工藤一弥、喜多恒和、菊池義公：
子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌の診断と治療—最新の研究動向—IV. 卵巣癌、卵巣癌の治療とHER-2/neu 過剰発現と予後
日本臨牀 62:582-586、2004
57. 高野政志、工藤一弥、喜多恒和、菊池義公：
ここが知りたい—婦人科がん化学療法【卵巣がん3】化学療法で組織型を考慮すべきか。
臨床婦人科産科 58:1257-1261、2004
58. 芝崎智子、古谷健一、佐々木直樹、藤井和之、斎藤恵子、伊香加納子、高野政志、松田秀雄、喜多恒和、菊池義公、笹秀典、相田真介：
子宮筋層病変を含む骨盤内腫瘍における針生検の臨床的検討
子宮筋層病変生検研究会誌 4:8-9、2004
59. 岡本三四郎、藤井和之、田中壮一郎、斎藤恵子、高野政志、喜多恒和、戸出健彦、菊池義公：
子宮頸部に発生した子宮頸部小細胞癌の1例。
日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 34:51-53、2004
60. 田中雅子、藤井和之、喜多恒和、村上充剛、斎藤恵子、岡本三四郎、高野政志、佐藤仁哉、相田真介、戸出健彦、菊池義公：
腔後部の子宮内膜症病巣より発生した類内膜腺癌の1例。
日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 34:69-74、2004
61. 菊池義公、工藤一弥：
抗悪性腫瘍薬の臨床薬理学 5. 白金化合物
産科と婦人科 72:186-191、2005
62. 北村勝彦：
シンプル衛生公衆衛生学 2004
分担部分：疾病予防と健康管理、南江堂、2004
2. 学会発表
1. Hagiwara Y, Dohi T, Kawamura Y, Yoshino N, Kataoka K, Komase K, Suzuki Y, McGhee JR, Fujihashi K.:
Nontoxic CT mutant (E112K) with second mutated in the COOH-terminal KDEL of the A subunit are effective mucosal adjuvants.
12th International Congress of Immunology, Montreal, Canada. 2004
2. Yoshino N, Kanekiyo M, Someya K, Matsuo K, Ami Y, Yamamoto N, Sato S, Honda M.:
Evaluation of mucosal HIV/AIDS vaccine based on recombinant vaccinia virus.
The 15th International AIDS Conference, Bangkok, Thailand. 2004
3. Hagiwara Y, Dohi T, Kawamura Y, Yoshino N, Kataoka K, Komase K, Suzuki Y, Kiyono H, McGhee JR, Fujihashi K.:
Nontoxic CT (E112K) Mutated In The COOH-Terminal KDEL Of The A Subunit Elicits Mucosal Adjuvant Activity Without Intracellular Trafficking.
4th World Congress on Vaccines and Immunology, Tsukuba, Japan. 2004
4. 和田裕一、喜多恒和、塚原優己、谷口晴記、佐久本薫、林公一、箕浦茂樹、阿部史朗、高野

- 政志、蓮尾泰之、戸谷良造、稲葉憲之：
HIV 母子感染予防の臨床的研究(1)－妊婦に対する HIV 抗体検査の実施率の年次推移と経済効率－。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
5. 佐久本薫、喜多恒和、塚原優己、和田裕一、谷口晴記、林公一、箕浦茂樹、阿部史朗、高野政志、蓮尾泰之、戸谷良造、稲葉憲之：
HIV 母子感染予防の臨床的研究(2)－感染妊婦の発生動向と母子感染率(産婦人科施設に対する全国調査より)。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
6. 喜多恒和、和田裕一、塚原優己、谷口晴記、佐久本薫、林公一、箕浦茂樹、阿部史朗、高野政志、早川智、戸谷良造、稲葉憲之：
HIV 母子感染予防の臨床的研究(3) 妊娠中の抗 HIV 薬投与による血中ウイルス量の変動と母子感染。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
7. 谷口晴記、戸谷良造、喜多恒和、塚原優己、和田裕一、林公一、阿部史朗、佐久本薫、高野政志、箕浦茂樹、蓮尾泰之、稲葉憲之：
HIV 母子感染予防の臨床的研究(4)－母子感染児の予後と感染経緯の検討(小児科施設に対する全国調査より)。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
8. 塚原優己、長縄聰、戸谷良造、喜多恒和、和田裕一、早川智、谷口晴記、林公一、佐久本薫、箕浦茂樹、蓮尾泰之、稲葉憲之：
HIV 母子感染予防の臨床的研究(5)－わが国の HIV 感染妊婦における感染経路のウイルス学的検討。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
9. 松田秀雄、坂口健一郎、吉永洋輔、芝崎智子、笹秀典、古谷健一、菊池義公、村上真紀：
過期妊娠予防のための適正な分娩誘発開始時期に関する検討。
第 56 回日本産科婦人科学会学術講演会、東京、2004
10. 蓮尾泰之、和田裕一、林公一、稲葉淳一、明城光三、吉野直人、松田秀雄、谷口晴記、北村勝彦、外川正生、塚原優己、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之：
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(1)妊婦 HIV スクリーニング検査の実施率。
第 22 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会、名古屋、2004
11. 塚原優己、喜多恒和、阿部史朗、佐久本薫、高野政志、松田秀雄、箕浦茂樹、吉野直人、谷口晴記、蓮尾泰之、北村勝彦、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之：
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(2)HIV 感染妊婦の発生動向。
第 22 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会、名古屋、2004
12. 松田秀雄、喜多恒和、阿部史朗、佐久本薫、高野政志、箕浦茂樹、吉野直人、谷口晴記、蓮尾泰之、北村勝彦、和田裕一、外川正生、塚原優己、戸谷良造、稲葉憲之：
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(3)妊娠中に投与された抗 HIV 薬の効果。
第 22 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会、名古屋、2004
13. 谷口晴記、外川正生、大場悟、葛西兼郎、国方徹也、高山直秀、井村総一、吉野直人、松田秀雄、蓮尾泰之、北村勝彦、和田裕一、塚原優己、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之：
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(4)母子感染例の感染経緯と予後。
第 22 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会、名古屋、2004

14. 北村勝彦、長縄聰、早川智、吉野直人、服部里佳、西川正能、谷口晴記、蓮尾泰之、外川正生、和田裕一、塚原優己、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之：
本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(5)感染妊婦における HIV subtype の検討。
第 22 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会、名古屋、2004
15. 喜多恒和：
シンポジウム「HIV と妊娠をめぐる諸問題」。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
16. 横山勝、木ノ本正信、徳永研三、佐多徹太郎、長縄聰、北村勝彦、蜂谷敦子、岡慎一、服部知秀、田中真理、横幕能行、有吉紅也、星野忠次、仲宗根正、佐藤裕徳：
計算科学の HIV-1 研究への適用に関する基礎研究。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
17. 喜多恒和、吉野直人、和田裕一、外川正生、塚原優己、箕浦茂樹、高野政志、北村勝彦、谷口晴記、戸谷良造、稲葉憲之：
妊娠中の抗 HIV 投与による血中ウイルス量の変動と母子感染
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
18. 吉野直人、兼清優、染谷健二、松尾和浩、網康至、佐藤成大、山本直樹、本多三男：
リコンビナント DIs ワクチンの皮内接種による粘膜免疫誘導。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
19. 外川正生、大場悟、葛西健郎、國方徹也、吉野直人、井村総一、戸谷良造、喜多恒和、和田裕一、塚原優己、稲葉憲之：
全国小児科調査にみるわが国の HIV 母子感染の実態について。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
20. 和田裕一、吉野直人、稲葉淳一、蓮尾泰之、林公一、早川智、喜多恒和、塚原優己、外川正生、戸谷良造、谷口晴記、鈴木智子、稲葉憲之：
妊婦 HIV 抗体スクリーニングの費用に関する調査～公費負担に関する実態調査。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
21. 林公一、戸谷良造、喜多恒和、塚原優己、吉野直人、外川正生、和田裕一、谷口晴記、蓮尾泰之、稲葉憲之：
本邦の HIV 感染妊婦出産例における HIV 母子感染予防未実施妊婦の臨床的背景に関する検討。
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
22. 長縄聰、富田康浩、横山勝、鈴木健之、白井輝、上田敦久、岳野光洋、武部豊、加藤佳代子、椎野禎一郎、朽久保修、石ヶ坪良明、北村勝彦、佐藤裕徳：
HIV-1 CRF01_AER5 ウイルス V3 配列に起因する抗体回避機構
第 18 回日本エイズ学会、静岡、2004
23. 高野政志：
わが国における HIV 感染妊娠の現状～早期診断および母子感染予防への取り組み～「エイズウイルスに感染した妊婦さんー日本では今一」
「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」研究成果発表会、東京、2004
24. 松田秀雄：
わが国における HIV 感染妊娠の現状～早期診断および母子感染予防への取り組み～「エイズウイルスに感染した妊婦さんー日本では今一」
「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」研究成果発表会、山形、2004
25. 北村勝彦、外川正生、大場悟、宮澤広文、高山直秀、井村総一、国方徹也、大曾根義輝、大久保秀夫、葛西健郎：
HIV 母子感染予防の臨床的研究ーサンプル解析から推測するわが国の HIV 母子感染の実態。
第 107 回日本小児科学会総会、岡山、2004
26. 長縄聰、富田康浩、横山勝、北村勝彦、佐藤祐徳：

HIV-1 特定準種の中和抵抗性と定方向進化.
第 52 回日本ウイルス学会学術集会、横浜、2004
27. 長縄 聰、塚野京子、鈴木健之、北村勝彦、
枘久保修：
本邦における HIV 母子感染の疫学的解析。
第 63 回日本公衆衛生学会総会、松江、2004
28. 國方徹也、箕浦茂樹、井村総一、葛西健郎、
和田裕一、蓮尾泰之、塚原優己、北村勝彦、尾
崎由和、稲葉憲之：
わが国における HIV 母子感染の現状（3）－
全国小児科施設に対する調査成績－。
第 40 回日本周産期・新生児医学会、東京、2004
29. 箕浦茂樹：
途上国での経験を日本でのケアに生かすため
の取り組み（国際母子センター）。
第13回国際医療協力シンポジウム、東京、2004
30. 藤倉雄二、長坂康子、小早川あかり、箕浦
茂樹：
診断に苦慮し治療抵抗性であった HIV 合併
明細胞腺癌の 1 例。
第25回東京大学婦人科癌免疫化学療法研究会、

東京、2004
31. 吉野直人：
変異型コレラトキシンの粘膜アジュバント効
果と安全性。
第 9 回岩手 BRM 研究会、盛岡、2004
32. 兼清優、網康至、松尾和浩、染谷健二、須
崎百合子、吉野直人、長谷川篤彦、山本直樹、
本多三男：
組換え BCG-および組換え DIs-HIV/SIV ワクチ
ンのサルモデルによる評価。
第 34 回日本免疫学会、札幌、2004
33. 佐久本薫：
性感染と妊娠—健やかな赤ちゃんを産むため
に—。日本産科婦人科学会沖縄地方部会「女性
のための市民公開健康講座」、那覇市、2004

H. 知的財産権の出願・登録状況
特になし。

図1 HIV感染妊婦のブロック別年次推移

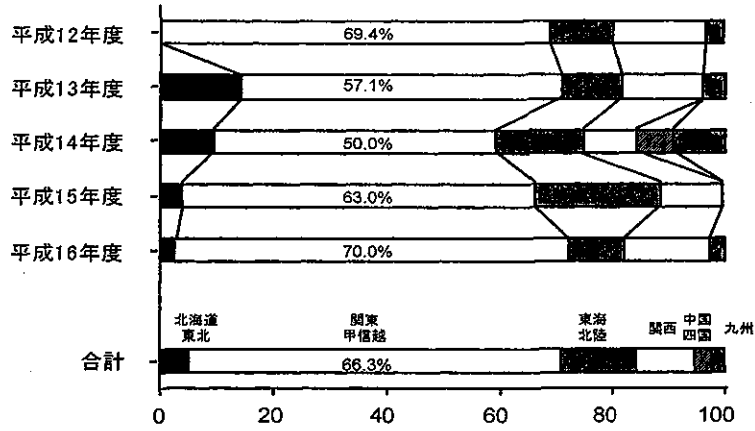


図2 HIV感染者数とHIV感染妊婦数との相関

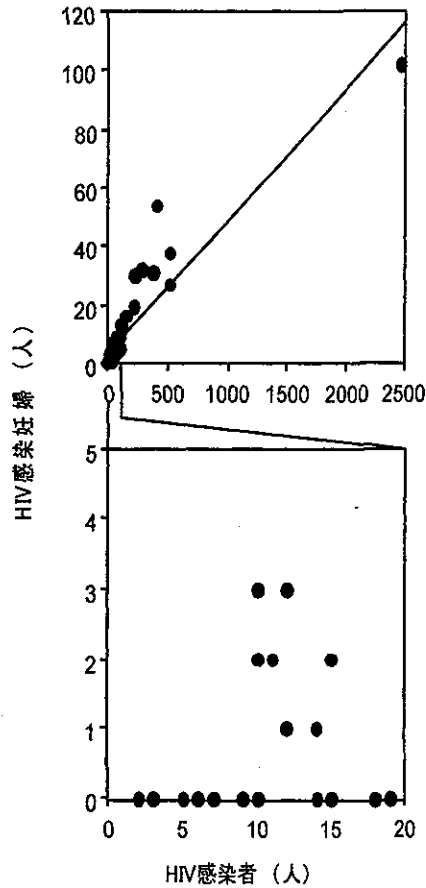


図3 HIV感染妊婦の発生都道府県別分布（平成16年度346例）

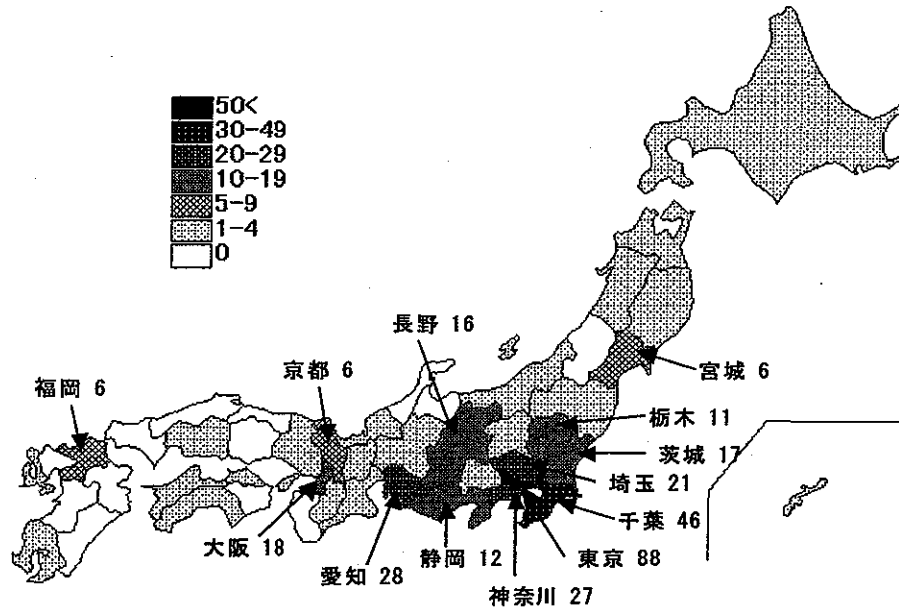


図4 HIV感染妊娠の年次別発生状況（産科小児科統合ファイル 423例）

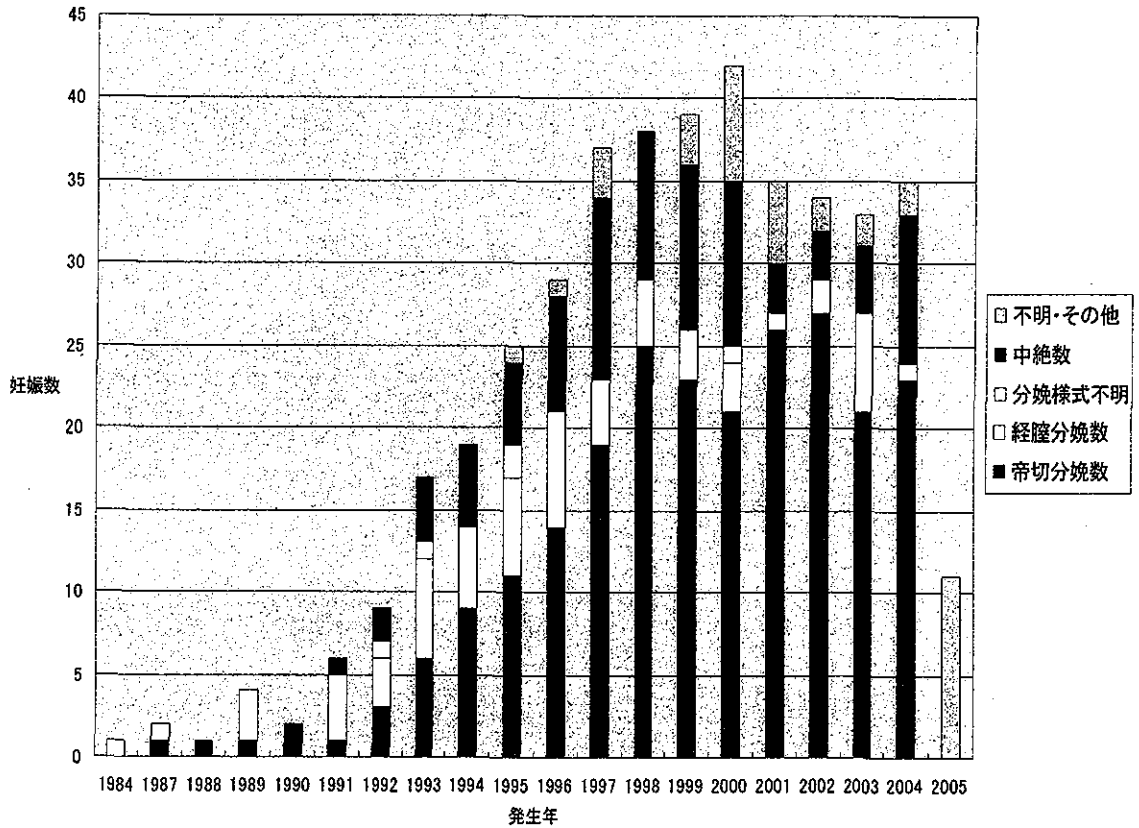


表1 都道府県別調査回答率

都道府県	送付数	回収数	回収率	廃止等	有効送付数	回答数	回答率	再送付数	再送付回収数	再送付回収率	廃止等	再送付回答数	最終有効送付数	最終回収数	最終回答数	最終回答率
北海道	81	35	43.2%	0	81	35	43.2%	46	16	34.8%	0	16	81	51	51	63.0%
青森	21	11	52.4%	0	21	11	52.4%	10	3	30.0%	0	3	21	14	14	66.7%
岩手	26	12	46.2%	0	26	12	46.2%	14	9	64.3%	0	9	26	21	21	80.8%
宮城	32	15	46.9%	1	31	14	45.2%	17	7	41.2%	0	7	31	22	21	67.7%
秋田	20	11	55.0%	0	20	11	55.0%	9	7	77.8%	0	7	20	18	18	90.0%
山形	26	14	53.8%	0	26	14	53.8%	12	5	41.7%	0	5	26	19	19	73.1%
福島	32	20	62.5%	0	32	20	62.5%	12	5	41.7%	0	5	32	25	25	78.1%
茨城	34	19	55.9%	2	32	17	53.1%	15	8	53.3%	0	8	32	27	25	78.1%
栃木	18	8	44.4%	0	18	8	44.4%	10	2	20.0%	0	2	18	10	10	55.6%
群馬	25	11	44.0%	0	25	11	44.0%	14	8	57.1%	0	8	25	19	19	76.0%
埼玉	56	27	48.2%	0	56	27	48.2%	29	11	37.9%	0	11	56	38	38	67.9%
千葉	43	27	62.8%	0	43	27	62.8%	16	3	18.8%	0	3	43	30	30	69.8%
東京	130	73	56.2%	1	129	72	55.8%	57	22	38.6%	1	21	128	94	93	72.7%
神奈川	76	34	44.7%	0	76	34	44.7%	42	23	54.8%	0	23	76	57	57	75.0%
新潟	43	29	67.4%	0	43	29	67.4%	14	8	57.1%	0	8	43	37	37	86.0%
山梨	12	5	41.7%	0	12	5	41.7%	7	3	42.9%	0	3	12	8	8	66.7%
長野	40	19	47.5%	0	40	19	47.5%	21	9	42.9%	0	9	40	28	28	70.0%
富山	22	13	59.1%	0	22	13	59.1%	9	1	11.1%	0	1	22	14	14	63.6%
石川	25	15	60.0%	0	25	15	60.0%	10	3	30.0%	0	3	25	18	18	72.0%
福井	17	12	70.6%	0	17	12	70.6%	5	2	40.0%	0	2	17	14	14	82.4%
岐阜	18	18	69.2%	0	18	18	69.2%	8	3	37.5%	0	3	18	21	21	80.8%
静岡	34	19	55.9%	0	34	19	55.9%	15	8	53.3%	0	8	34	27	27	79.4%
愛知	88	48	54.5%	0	88	48	54.5%	40	17	42.5%	0	17	88	65	65	73.9%
三重	24	16	66.7%	0	24	16	66.7%	8	2	25.0%	0	2	24	18	18	75.0%
滋賀	20	9	45.0%	0	20	9	45.0%	11	5	45.5%	0	5	20	14	14	70.0%
京都	40	26	65.0%	0	40	26	65.0%	14	7	50.0%	0	7	40	33	33	82.5%
大阪	94	51	54.3%	0	94	51	54.3%	43	19	44.2%	0	19	94	70	70	74.5%
兵庫	67	7	10.4%	0	67	7	10.4%	60	43	71.7%	0	43	67	50	50	74.6%
奈良	15	10	66.7%	0	15	10	66.7%	5	0	0.0%	0	0	15	10	10	66.7%
和歌山	15	11	73.3%	1	14	10	71.4%	4	2	50.0%	0	2	14	13	12	85.7%
鳥取	11	7	63.6%	0	11	7	63.6%	4	1	25.0%	0	1	11	8	8	72.7%
島根	17	11	64.7%	0	17	11	64.7%	6	3	50.0%	0	3	17	14	14	82.4%
岡山	31	20	64.5%	0	31	20	64.5%	11	2	18.2%	0	2	31	22	22	71.0%
広島	43	25	58.1%	0	43	25	58.1%	18	11	61.1%	1	10	42	36	36	83.3%
山口	24	15	62.5%	0	24	15	62.5%	9	6	66.7%	0	6	24	21	21	87.5%
徳島	12	8	66.7%	0	12	8	66.7%	4	3	75.0%	0	3	12	11	11	91.7%
香川	20	12	60.0%	0	20	12	60.0%	8	5	62.5%	0	5	20	17	17	85.0%
愛媛	20	12	60.0%	0	20	12	60.0%	8	4	50.0%	0	4	20	16	16	80.0%
高知	12	7	58.3%	1	11	6	54.5%	5	3	60.0%	1	4	10	10	8	80.0%
福岡	43	30	69.8%	0	43	30	69.8%	13	7	53.8%	0	7	43	37	37	86.0%
佐賀	10	8	80.0%	0	10	8	80.0%	2	1	50.0%	0	1	10	9	9	90.0%
長崎	26	16	61.5%	1	25	15	60.0%	10	5	50.0%	0	5	25	21	20	80.0%
熊本	21	7	33.3%	0	21	7	33.3%	14	7	50.0%	0	7	21	14	14	66.7%
大分	20	17	85.0%	2	18	15	83.3%	3	1	33.3%	0	1	18	18	16	88.9%
宮崎	13	6	46.2%	1	12	5	41.7%	7	3	42.9%	0	3	12	9	8	66.7%
鹿児島	24	13	54.2%	0	24	13	54.2%	11	2	18.2%	0	2	24	15	15	62.5%
沖縄	21	14	66.7%	0	21	14	66.7%	7	3	42.9%	0	3	21	17	17	81.0%
全国	1,570	863	54.3%	10	1,560	843	54.0%	717	328	45.7%	3	325	1,557	1,180	1,168	75.0%

表2 都道府県別妊婦捕捉率

都道府県	分娩件数	調査 分娩件数	捕捉率
北海道	46,101	21,106	45.8%
青森	12,434	4,405	35.4%
岩手	11,862	5,674	47.8%
宮城	21,474	7,993	37.2%
秋田	8,456	5,755	68.1%
山形	10,489	6,355	60.6%
福島	19,466	8,358	42.9%
茨城	27,337	11,496	42.1%
栃木	18,376	4,916	26.8%
群馬	18,763	6,085	32.4%
埼玉	64,762	19,606	30.3%
千葉	54,607	10,040	18.4%
東京	100,118	43,696	43.6%
神奈川	81,498	31,789	39.0%
新潟	20,221	10,349	51.2%
山梨	7,919	2,690	34.0%
長野	20,324	10,197	50.2%
富山	9,854	3,725	37.8%
石川	10,886	5,233	48.1%
福井	7,758	3,532	45.5%
岐阜	19,617	5,871	29.9%
静岡	35,212	12,327	35.0%
愛知	71,823	28,213	39.3%
三重	17,190	5,793	33.7%
滋賀	13,938	2,762	19.8%
京都	22,859	10,116	44.3%
大阪	83,883	38,159	45.5%
兵庫	52,314	18,631	35.6%
奈良	12,472	3,440	27.6%
和歌山	8,943	3,813	42.6%
鳥取	5,365	2,191	40.8%
島根	6,318	3,429	54.3%
岡山	18,509	7,112	38.4%
広島	26,508	10,900	41.1%
山口	12,578	5,199	41.3%
徳島	6,836	2,423	35.4%
香川	9,438	4,329	45.9%
愛媛	12,488	4,121	33.0%
高知	6,513	2,584	39.7%
福岡	46,443	9,933	21.4%
佐賀	8,202	1,598	19.5%
長崎	13,260	4,512	34.0%
熊本	16,839	6,342	37.7%
大分	10,424	2,514	24.1%
宮崎	10,657	2,124	19.9%
鹿児島	15,755	6,417	40.7%
沖縄	16,571	7,423	44.8%
全国	1,153,660	435,276	37.7%

表 3-1 都道府県別新規症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	宮城	1	2.5%	1	2.5%
関東・甲信越	茨城	1	2.5%	28	70.0%
	栃木	4	10.0%		
	群馬	1	2.5%		
	埼玉	3	7.5%		
	千葉	3	7.5%		
	東京	10	25.0%		
	神奈川	3	7.5%		
	長野	3	7.5%		
東海・北陸	静岡	2	5.0%	4	10.0%
	愛知	2	5.0%		
近畿	滋賀	1	2.5%	6	15.0%
	京都	1	2.5%		
	大阪	3	7.5%		
	兵庫	1	2.5%		
中国・四国	広島	1	2.5%	1	2.5%
全国		40	100.0%	40	100.0%

表 3-2 都道府県別既調査未報告症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	北海道	1	5.9%	2	11.8%
	秋田	1	5.9%		
関東・甲信越	埼玉	4	23.5%	11	64.7%
	千葉	2	11.8%		
	東京	1	5.9%		
	山梨	2	11.8%		
	長野	2	11.8%		
東海・北陸	愛知	1	5.9%	1	5.9%
近畿	滋賀	1	5.9%	3	17.6%
	大阪	2	11.8%		
合計		17	100.0%	17	100.0%

表3-3 都道府県別累積症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	北海道	7	1.5%	23	5.0%
	青森	2	0.4%		
	岩手	2	0.4%		
	宮城	7	1.5%		
	秋田	3	0.6%		
	山形	0	0.0%		
	福島	2	0.4%		
関東・甲信越	茨城	31	6.7%	307	66.3%
	栃木	13	2.8%		
	群馬	9	1.9%		
	埼玉	30	6.5%		
	千葉	54	11.7%		
	東京	102	22.0%		
	神奈川	38	8.2%		
	新潟	5	1.1%		
	山梨	6	1.3%		
	長野	19	4.1%		
東海・北陸	富山	0	0.0%	61	13.2%
	石川	2	0.4%		
	福井	5	1.1%		
	岐阜	2	0.4%		
	静岡	16	3.5%		
	愛知	32	6.9%		
	三重	4	0.9%		
近畿	滋賀	6	1.3%	50	10.8%
	京都	9	1.9%		
	大阪	27	5.8%		
	兵庫	5	1.1%		
	奈良	3	0.6%		
	和歌山	0	0.0%		
中国・四国	鳥取	0	0.0%	11	2.4%
	島根	0	0.0%		
	岡山	0	0.0%		
	広島	3	0.6%		
	山口	0	0.0%		
	徳島	0	0.0%		
	香川	3	0.6%		
	愛媛	4	0.9%		
	高知	1	0.2%		
九州	福岡	5	1.1%	11	2.4%
	佐賀	0	0.0%		
	長崎	1	0.2%		
	熊本	0	0.0%		
	大分	0	0.0%		
	宮崎	0	0.0%		
	鹿児島	4	0.9%		
沖縄	1	0.2%			
合計		463	100.0%	463	100.0%

表4-1 都道府県別分娩件数

都道府県	分娩件数						ブロック別
	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	合計	合計
北海道	46,101	46,236	46,780	46,680	49,065	234,862	671,242
青森	12,434	12,889	12,920	13,146	13,594	64,983	
岩手	11,862	12,272	12,410	12,420	12,778	61,742	
宮城	21,474	21,751	22,154	21,886	22,312	109,577	
秋田	8,456	8,874	9,007	9,168	9,367	44,872	
山形	10,489	10,907	10,919	10,815	11,030	54,160	
福島	19,466	20,008	20,332	20,497	20,743	101,046	
茨城	27,337	27,864	28,220	28,261	28,602	140,284	2,093,055
栃木	18,376	18,911	18,976	18,485	18,836	93,584	
群馬	18,763	19,024	19,445	19,111	19,422	95,765	
埼玉	64,762	65,417	66,376	65,711	67,144	329,410	
千葉	54,607	54,511	55,318	54,005	54,961	273,402	
東京	100,118	98,421	100,209	97,959	98,960	495,667	
神奈川	81,498	81,839	82,906	81,792	83,104	411,139	
新潟	20,221	21,301	21,886	21,812	22,661	107,881	
山梨	7,919	8,126	8,374	8,318	8,578	41,315	
長野	20,324	20,889	21,194	20,765	21,436	104,608	
富山	9,854	9,994	10,170	10,139	10,117	50,274	
石川	10,886	11,342	11,467	11,290	11,642	56,627	
福井	7,758	7,958	8,036	8,053	8,269	40,074	
岐阜	19,617	19,603	20,276	20,151	20,447	100,094	
静岡	35,212	35,193	35,794	35,395	35,921	177,515	
愛知	71,823	73,057	74,736	73,738	75,206	368,560	
三重	17,190	17,094	17,726	17,375	17,829	87,214	
滋賀	13,938	14,015	14,087	14,040	14,032	70,112	1,005,520
京都	22,859	23,364	23,997	23,831	24,312	118,363	
大阪	83,883	86,000	88,163	88,385	90,324	436,755	
兵庫	52,314	52,585	54,455	53,765	54,421	267,540	
奈良	12,472	12,768	13,270	13,158	13,779	65,447	
和歌山	8,943	9,345	9,566	9,563	9,886	47,303	
鳥取	5,365	5,595	5,645	5,352	5,624	27,581	
島根	6,318	6,640	6,522	6,394	6,491	32,365	
岡山	18,509	18,797	19,059	18,771	19,204	94,340	
広島	26,508	27,328	27,384	27,119	27,914	136,253	
山口	12,578	12,989	13,121	13,138	13,275	65,101	
徳島	6,836	7,038	7,224	7,135	7,255	35,488	
香川	9,438	9,472	9,808	9,651	9,664	48,033	
愛媛	12,488	13,006	13,207	13,046	13,606	65,353	
高知	6,513	6,736	6,811	6,649	6,761	33,470	
福岡	46,443	46,985	47,290	46,682	47,811	235,211	706,587
佐賀	8,202	8,561	8,745	8,551	8,741	42,800	
長崎	13,260	13,789	14,098	14,121	14,672	69,940	
熊本	16,839	16,960	17,262	17,109	17,443	85,613	
大分	10,424	10,891	10,910	10,714	11,129	54,068	
宮崎	10,657	11,007	11,037	10,938	11,335	54,974	
鹿児島	15,755	15,943	16,272	15,663	16,227	79,860	
沖縄	16,571	17,169	16,773	16,680	16,928	84,121	
全国	1,153,660	1,170,464	1,190,337	1,177,427	1,202,858	5,894,746	5,894,746

表4-2 都道府県別捕捉分娩件数

都道府県	捕捉分娩件数						ブロック別 合計	
	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	合計		
北海道	21,106	21,255	25,106	18,873	25,761	112,101	302,945	
青森	4,405	4,531	4,576	3,323	5,074	21,909		
岩手	5,674	6,631	6,445	4,286	5,800	28,836		
宮城	7,993	7,617	10,260	10,323	11,437	47,630		
秋田	5,755	4,601	3,894	4,995	6,450	25,695		
山形	6,355	7,279	6,927	3,636	5,115	29,312		
福島	8,358	7,900	7,271	5,546	8,387	37,462		
茨城	11,496	10,681	9,612	11,079	12,602	55,470	809,067	
栃木	4,916	6,426	6,887	6,700	6,840	31,769		
群馬	6,085	6,173	6,562	5,866	7,921	32,607		
埼玉	19,606	20,982	22,627	17,665	20,019	100,899		
千葉	10,040	11,088	10,992	8,782	11,737	52,639		
東京	43,696	52,846	50,154	48,837	52,009	247,542		
神奈川	31,789	33,344	33,958	32,020	31,955	163,066		
新潟	10,349	12,352	13,507	10,343	13,827	60,378		
山梨	2,690	2,496	3,092	2,668	2,541	13,487		
長野	10,197	9,108	10,856	8,252	12,797	51,210		
富山	3,725	4,205	4,910	4,901	5,115	22,856	333,083	
石川	5,233	5,085	5,817	4,642	4,728	25,505		
福井	3,532	2,720	2,953	2,757	2,728	14,690		
岐阜	5,871	7,380	6,899	6,593	8,450	35,193		
静岡	12,327	10,900	12,509	11,839	11,320	58,895		
愛知	28,213	27,872	28,311	26,052	34,854	145,302		
三重	5,793	6,117	6,616	5,428	6,688	30,642		
滋賀	2,762	2,120	3,534	2,431	3,073	13,920	435,458	
京都	10,116	10,088	10,303	9,411	11,671	51,589		
大阪	38,159	41,971	44,775	43,013	47,957	215,875		
兵庫	18,631	20,493	23,186	21,718	24,023	108,051		
奈良	3,440	4,366	5,588	5,338	6,167	24,899		
和歌山	3,813	4,786	4,568	3,373	4,584	21,124		
鳥取	2,191	2,212	2,052	1,871	2,629	10,955		
島根	3,429	3,451	3,677	2,971	3,209	16,737	209,935	
岡山	7,112	7,248	7,318	5,681	8,400	35,759		
広島	10,900	10,584	10,468	11,222	10,850	54,024		
山口	5,199	4,130	4,051	4,311	5,431	23,122		
徳島	2,423	2,927	3,001	2,893	3,090	14,334		
香川	4,329	4,078	4,241	3,329	4,254	20,231		
愛媛	4,121	4,086	4,694	3,404	5,232	21,537		
高知	2,584	2,757	2,876	2,317	2,702	13,236		
福岡	9,933	10,014	10,783	12,595	12,810	56,135		208,432
佐賀	1,598	1,433	1,535	1,669	2,011	8,246		
長崎	4,512	4,242	4,993	4,371	5,075	23,193		
熊本	6,342	5,604	5,333	5,554	6,347	29,180		
大分	2,514	2,680	2,931	2,452	2,850	13,427		
宮崎	2,124	2,244	2,640	1,872	2,107	10,987		
鹿児島	6,417	5,133	7,114	6,818	6,386	31,868		
沖縄	7,423	8,411	8,347	5,221	5,994	35,396		
全国	435,276	454,647	478,749	429,241	501,007	2,298,920	2,298,920	

表4-3 都道府県別分娩捕捉率

都道府県	捕捉率						ブロック別	
	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	合計	合計	
北海道	45.8%	46.0%	53.7%	40.4%	52.5%	47.7%	45.1%	
青森	35.4%	35.2%	35.4%	25.3%	37.3%	33.7%		
岩手	47.8%	54.0%	51.9%	34.5%	45.4%	46.7%		
宮城	37.2%	35.0%	46.3%	47.2%	51.3%	43.5%		
秋田	68.1%	51.8%	43.2%	54.5%	68.9%	57.3%		
山形	60.6%	66.7%	63.4%	33.6%	46.4%	54.1%		
福島	42.9%	39.5%	35.8%	27.1%	40.4%	37.1%		
茨城	42.1%	38.3%	34.1%	39.2%	44.1%	39.5%		38.7%
栃木	26.8%	34.0%	36.3%	36.2%	36.3%	33.9%		
群馬	32.4%	32.4%	33.7%	30.7%	40.8%	34.0%		
埼玉	30.3%	32.1%	34.1%	26.9%	29.8%	30.6%		
千葉	18.4%	20.3%	19.9%	16.3%	21.4%	19.3%		
東京	43.6%	53.7%	50.0%	49.9%	52.6%	49.9%		
神奈川	39.0%	40.7%	41.0%	39.1%	38.5%	39.7%		
新潟	51.2%	58.0%	61.7%	47.4%	61.0%	56.0%		
山梨	34.0%	30.7%	36.9%	32.1%	29.6%	32.6%		
長野	50.2%	43.6%	51.2%	39.7%	59.7%	49.0%		
富山	37.8%	42.1%	48.3%	48.3%	50.6%	45.5%	37.8%	
石川	48.1%	44.8%	50.7%	41.1%	40.6%	45.0%		
福井	45.5%	34.2%	36.7%	34.2%	33.0%	36.7%		
岐阜	29.9%	37.6%	34.0%	32.7%	41.3%	35.2%		
静岡	35.0%	31.0%	34.9%	33.4%	31.5%	33.2%		
愛知	39.3%	38.2%	37.9%	35.3%	46.3%	39.4%		
三重	33.7%	35.8%	37.3%	31.2%	37.5%	35.1%		
滋賀	19.8%	15.1%	25.1%	17.3%	21.9%	19.9%		43.3%
京都	44.3%	43.2%	42.9%	39.5%	48.0%	43.6%		
大阪	45.5%	48.8%	50.8%	48.7%	53.1%	49.4%		
兵庫	35.6%	39.0%	42.6%	40.4%	44.1%	40.4%		
奈良	27.6%	34.2%	42.1%	40.6%	44.8%	38.0%		
和歌山	42.6%	51.2%	47.8%	35.3%	46.4%	44.7%		
鳥取	40.8%	39.5%	36.4%	35.0%	46.7%	39.7%	39.0%	
島根	54.3%	52.0%	56.4%	46.5%	49.4%	51.7%		
岡山	38.4%	38.6%	38.4%	30.3%	43.7%	37.9%		
広島	41.1%	38.7%	38.2%	41.4%	38.9%	39.6%		
山口	41.3%	31.8%	30.9%	32.8%	40.9%	35.5%		
徳島	35.4%	41.6%	41.5%	40.5%	42.6%	40.4%		
香川	45.9%	43.1%	43.2%	34.5%	44.0%	42.1%		
愛媛	33.0%	31.4%	35.5%	26.1%	38.5%	33.0%		
高知	39.7%	40.9%	42.2%	34.8%	40.0%	39.5%		
福岡	21.4%	21.3%	22.8%	27.0%	26.8%	23.9%		29.5%
佐賀	19.5%	16.7%	17.6%	19.5%	23.0%	19.3%		
長崎	34.0%	30.8%	35.4%	31.0%	34.6%	33.2%		
熊本	37.7%	33.0%	30.9%	32.5%	36.4%	34.1%		
大分	24.1%	24.6%	26.9%	22.9%	25.6%	24.8%		
宮崎	19.9%	20.4%	23.9%	17.1%	18.6%	20.0%		
鹿児島	40.7%	32.2%	43.7%	43.5%	39.4%	39.9%		
沖縄	44.8%	49.0%	49.8%	31.3%	35.4%	42.1%		
全国	37.7%	38.8%	40.2%	36.5%	41.7%	39.0%	39.0%	

表4-4 都道府県別HIV抗体検査件数

都道府県	検査件数						ブロック別	
	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	合計	合計	
北海道	18,669	17,415	20,072	13,502	17,972	87,630	240,506	
青森	3,231	2,615	1,879	1,416	3,501	12,642		
岩手	4,238	3,943	3,757	2,525	3,283	17,746		
宮城	7,716	7,264	9,109	9,877	10,879	44,845		
秋田	5,068	4,394	3,740	3,441	4,648	21,291		
山形	5,073	5,428	4,593	2,333	2,544	19,971		
福島	8,158	7,792	7,235	5,144	8,053	36,382		
茨城	11,330	10,504	9,488	10,902	11,933	54,157		778,276
栃木	4,668	6,399	6,838	5,854	6,168	29,926		
群馬	5,955	6,031	6,492	5,524	7,577	31,578		
埼玉	19,602	20,885	22,407	17,505	19,931	100,330		
千葉	9,595	10,943	10,445	8,663	11,442	51,088		
東京	40,593	50,323	46,782	47,139	47,571	232,408		
神奈川	29,378	32,261	32,604	30,663	30,982	155,888		
新潟	10,285	12,240	13,437	10,337	13,146	59,445		
山梨	2,690	2,496	3,090	2,668	2,433	13,377		
長野	10,119	8,951	10,572	7,844	12,594	50,079		
富山	3,479	3,806	4,384	3,986	4,060	19,715	306,243	
石川	5,168	5,021	5,522	4,516	4,355	24,582		
福井	2,940	2,720	2,233	1,492	1,956	11,341		
岐阜	5,411	6,887	6,692	6,257	8,200	33,447		
静岡	12,309	10,900	12,504	11,653	11,134	58,500		
愛知	24,943	26,475	25,438	23,676	29,155	129,687		
三重	5,789	5,587	6,212	4,929	6,454	28,971		
滋賀	2,762	2,077	2,710	1,739	2,324	11,612	370,996	
京都	10,033	8,991	9,130	8,951	10,683	47,788		
大阪	36,497	39,210	38,949	34,893	39,927	189,476		
兵庫	17,532	17,232	18,554	14,957	17,527	85,802		
奈良	3,432	4,103	4,867	5,145	5,255	22,802		
和歌山	3,117	4,075	3,094	1,649	1,582	13,517		
鳥取	1,318	977	1,072	928	1,566	5,861		148,383
島根	2,438	1,984	1,575	634	658	7,289		
岡山	6,819	6,224	6,237	4,304	5,810	29,394		
広島	9,617	8,817	8,233	9,102	8,331	44,100		
山口	3,928	2,908	2,617	1,640	1,750	12,843		
徳島	1,948	2,497	2,381	1,456	1,549	9,831		
香川	3,828	3,800	3,565	2,560	1,948	15,700		
愛媛	3,986	3,891	2,880	2,487	2,133	15,377		
高知	2,308	2,171	1,357	1,249	903	7,988		
福岡	6,813	5,700	4,364	4,379	4,615	25,871	119,826	
佐賀	1,465	1,316	520	1	2	3,304		
長崎	3,064	2,466	2,936	2,611	2,867	13,944		
熊本	4,651	4,688	3,655	3,777	3,856	20,628		
大分	1,956	1,830	1,470	1,830	884	7,970		
宮崎	1,144	1,091	858	879	463	4,435		
鹿児島	5,779	4,529	6,325	5,833	4,571	27,037		
沖縄	5,552	6,056	3,074	1,580	377	16,638		
全国	396,394	407,908	405,948	354,430	399,551	1,964,231	1,964,231	